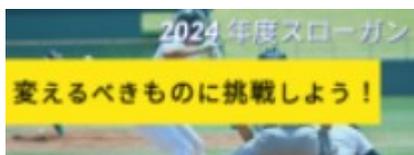


# 令和6年 日本少年野球連盟 静岡県支部1年生大会



公益財団法人  
日本少年野球連盟

**期間** 令和6年11月4日(祝)9日(土)10日(日)16日予備

**会場** 富士球場/島田球場

**主催** (公財)日本少年野球連盟 静岡県支部  
(公財)日本少年野球連盟

---

**⚠️ ボーイズリーグは一切の暴力、暴言を禁止しています。**



*Japan Boys Baseball*

野球をしながら  
団結・友愛・規律・勇気・忍耐  
身につけよう

(公財)日本少年野球連盟定義 第3条

本財団は、ボーイズリーグを通じ、硬式野球を愛好する少年に正しい野球のあり方を指導し、野球を通じて心身の鍛錬とスポーツマンシップを理解させることに努め、規律を重んじる明朗な社会人としての基礎を養成し、もって次代を担う少年の健全育成を図ることを目的とする。

公益財団法人 日本少年野球連盟

会長 惣田 敏和

本部 大阪市浪速区日本橋西1丁目3番19号

南海日本橋ビル2F

TEL. 06-6649-0061

令和6年 日本少年野球連盟 静岡県支部一年生大会

月	日	曜日	確保球場	開門	第1試合	第2試合	第3試合	第4試合	責任審判員	担当チーム
11	4	祝	富士球場	8:00	A 2	A 3	A 1			静岡葵
11	9	土	富士球場	8:30	B 1	B 3				富士
11	9	土	島田球場	8:30	B 4	B 2				島田or大井川
11	10	日	富士球場	8:00	準1	準2	決勝			?
11	16	土	予備日?							

グラウンド担当 大会3日目以降の担当チームは、勝ち上がりチームにて行います。

順延時

都度支部にて決定後、該当チームの代表へ連絡します。

\*中止決定は、当日6:00に担当チームが判断し、該当チームの代表及び支部長、事務局長、審判委員長、事業部長、へ連絡してください。

大会規定

2024年公認野球規則ならびに、(公財)日本少年野球連盟特別ルールを厳守します。  
(公財)日本野球連盟が定める「中学生投手の球数制限に関する統一ガイドライン」を厳守します。

大会参加費

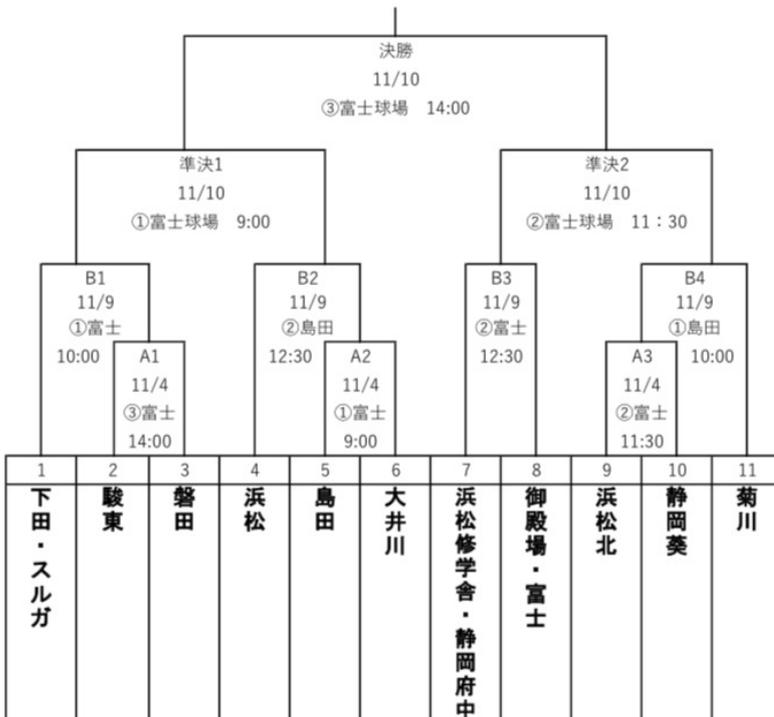
大会参加費7,500円+特別負担金7,500円 合計¥15,000円を支部会計へ振込んでください。  
※尚、抽選後棄権の場合は、返金しません。  
\*各チームはトスを行う時、試合球2球を主審へ提出する。(不足時は両チームから1球ずつ提供)

審判要請

当日試合チームの父兄審判1名は、第一試合開始の1時間前に各球場審判部へ集合してください。原則的に、球審と二塁塁審は、全試合該当球場地域の常任審判員 (BL2) で行います。

結果報告

担当チームは、試合結果を事務局長(富士:瀧澤代表)と事業部長(菊川:池田代表)に連絡  
\*詳細結果用紙は、瀧澤広報部長へ写真メールしてください。  
\*詳細結果用紙は、瀧澤広報部長へ写真メールしてください。



令和6年 日本少年野球連盟 静岡県支部1年生大会役員名簿

大会顧問	公益財団法人日本少年野球連盟	会長	惣田敏和
	公益財団法人日本少年野球連盟	特別相談役	堀内 健
	公益財団法人日本少年野球連盟	中日本ブロック長	松本行弘
	公益財団法人日本少年野球連盟	静岡県担当理事	杉浦真一
大会会長	公益財団法人日本少年野球連盟	静岡県支部支部長	矢田正行
大会副会長	公益財団法人日本少年野球連盟	静岡県支部副支部長	瀧澤広行
	公益財団法人日本少年野球連盟	静岡県支部副支部長	山本浩士
大会運営委員長	静岡県支部企画運営部長		鈴木貴司
大会運営副委員長	静岡県支部行事委員長		池田竜司
大会運営委員	静岡県支部		宮本博之
	島田ボーイズ代表		山田 登
	スルガボーイズ代表		靱山 浩
	静岡葵ボーイズ代表		芦澤厚史
	静岡府中ボーイズ代表		熊切大介
	大井川ボーイズ代表		森重明
	浜松修学舎ボーイズ代表		倉島裕貴
	静岡県支部		進士佳典
	御殿場ボーイズ代表		芹澤輝充
	浜松北ボーイズ代表		富樫憲之
大会広報委員長	富士ボーイズ		瀧澤佳孝
大会広報副委員長	磐田ボーイズ		中村好寛
大会会計	下田ボーイズ		宮本浩和
大会審判団	静岡県支部審判長		高林俊光
	静岡県支部審判団		
大会審判団	静岡県支部審判長		高林俊光
	静岡県支部審判団		

# 公益財団法人日本少年野球連盟主催大会規定

平成27年2月22日改正

平成28年12月11日改正

平成29年4月28日改正

令和3年10月2日改正

令和3年12月12日改正

1. チームの登録選手 中学生の部は11名以上25名以内（ベンチ入りは20名以内）、小学生の部は9名以上20名以内とする。
2. 出場選手はその大会の登録締め切り日現在連盟への登録済みの者に限る。
3. 審査証は当年度発行のものとする。
4. オーダー表記入選手20名以内およびチーム責任者、登録された監督、コーチ、マネージャーのみベンチに入ることが出来る。但し、各種登録証（チーム責任者、監督、コーチ）および審査証（選手）を携帯していない場合は、いかなる理由でもベンチには入れないが、チーム責任者、監督、コーチは試合開始までに間にあった場合は、審査の上ベンチ入りできる。また、選手は試合終了までに間にあった場合は、審査の上、その時点でベンチ入りできる。なお、チーム責任者は必ずベンチに入らなければならない。チーム責任者が不在の場合は試合できない。
5. 組み合わせの若番号が1塁側のベンチ、後番号が3塁側のベンチに入る。ただし、チーム責任者、監督、コーチは登録証を携帯すること。
6. 監督（背番号60）、コーチ（背番号50）は選手と同じユニフォームを着用すること。
7. 試合開始時刻60分前までに試合球場に到着し、直ちにオーダー表5部、打球回数記録副表3部および大会初戦の時は、直前大会参加報告書を大会本部に提出のうえ所定の審査を受けなければならない。
8. オーダー表交換時に両キャプテンにより、先攻、後攻をジャンケンで決める。
9. 試合開始予定時刻までにチームがグラウンドに現れないときには、球場責任者と責任審判員が協議して、没収試合を宣言することができる。
10. 試合方式など
  - ・中学生の部
    - (1) 各試合は7回戦で行い、4回終了をもって正式試合とする。試合成立後は試合開始から2時間（決勝戦は2時間20分）を超えた場合、新しいイニングには入らない（後攻チームの得点が先攻チームの得点より多い場合は後攻チームが攻撃中でも規定時間になれば、その時点で試合を終了する）。また、降雨や視界不良などにより試合続行が不可能となった場合、野球規則7.01(4)により勝敗を決する。同点の場合は最終回時点で出場していたメンバー全員の抽選とする。  
試合成立前に、上記の理由により試合続行が不可能になった場合は、サスペンデッドゲームとする。
    - (2) 4回終了時（後攻チームの得点が先攻チームの得点より多い場合は、4回表終了時）10点差、5回以降7点差の場合、コールドゲームとする。
    - (3) 7回終了後、同点の場合は延長戦に入るが、延長8回（決勝戦は10回）あるいは試合開始から2時間（決勝戦は2時間20分）を超えては（どちらか早い方）新しいイニングに入らず、タイブレーク方式を実施する。（競技に関する特別規則「タイブレーク実施細則」参照）
  - ・小学生の部
    - (1) 各試合は6回戦で行い、4回終了をもって正式試合とする。試合成立後は試合開始から1時間40分（決勝戦は2時間）を超えた場合、新しいイニングには入らない（後攻チームの得点が先攻チームの得点より多い場合は後攻チームが攻撃中でも規定時間にな

れば、その時点で試合を終了する)。また、降雨や視界不良などにより試合続行が不可能となった場合、野球規則7.01(4)により勝敗を決する。同点の場合は最終回時点で出場していたメンバー全員の抽選とする。

試合成立前に、上記の理由により試合続行が不可能になった場合は、サスペンデッドゲームとする。

(2) 4回以降7点差の場合、コールドゲームとする。

(3) 6回終了後、同点の場合は延長戦に入るが、延長7回(決勝戦は9回)あるいは試合開始から1時間40分(決勝戦は2時間)を超えては(どちらか早い方)新しいイニングに入らず、タイブレーク方式を実施する。(競技に関する特別規則「タイブレーク実施細則」参照)

11. ・中学生の部レギュラー及び、ジュニアの試合での登板は、以下のとおり制限する。

(1) 1日最大80球とし、連続する2日間で120球以内とする。

連続する2日間で80球を超えた場合は、3日目は投球を禁止する。

また3連投(連続する3日間)する場合は1日の投球数を40球以内とし4連投(連続する4日間)は禁止する。

(2) 大会中は1日80球以内とし、翌日投球を休めば3日目は80球の投球を可とする。

(3) (1)~(2)を基本原則とするが、打者の途中で制限数が来た場合は当該打者の打席終了までは投球を認める。制限数を超過した球数は投球数にカウントしない。

(4) 連続する2日間で80球を超えた投手、並びに3連投した投手は、登板最終日並びに翌日は捕手としても出場できない。

(5) ボークは投球数としない。

(6) 雨などのノーゲームになった試合は投球にカウントする。

(7) 2年生以下が投手の場合も上記に準ずるが指導者は十分考慮する事。

・小学生の部レギュラー及び、ジュニアの試合での登板は以下のとおり制限する。

(1) 1日最大70球とし、連続する2日間で105球とする。

3連投(連続する3日間)は禁止する。

(2) 大会中は1日70球以内とし、翌日投球を休めば3日目70球の投球を可とする。

(3) (1)~(2)を基本原則とするが、打者の途中で制限数が来た場合は当該打者の打席終了までは投球を認める。制限数を超過した球数は投球にカウントしない。

(4) ボークは投球数にしない。

(5) 雨などノーゲームになった試合は投球にカウントする。

・共通事項

(1) ダブルヘッダーの場合で、2試合に登板した時は連続2日間投球した事とする。また、1試合のみ登板した場合は、1日の投球とする。

(2) 小学生に於いては投手から捕手の制限は設けないが、指導者は十分考慮すること。

12. (1) 監督またはコーチの指示、伝達は1試合で攻撃2回と守備2回の計4回とする。

延長またはタイブレークに入った場合は、それぞれで1回の指示、伝達を認める。

(選手の怪我や交代などの指示、伝達は回数に入らない)

(2) 守備側の投手に対する指示、伝達が3回目となれば、自動的に投手は交代となり、その投手は他の守備位置についてもよいが、再び投手として登板することはできない。

(3) 内野手が2人以上投手のところに行った時も1回に数える。

(4) 指示、伝達は審判がタイムを宣告してから「30秒以内」とする。

13. 1イニングで同一の投手に対して指示、伝達が2回目となれば、自動的に投手の交代となる。その投手は他の守備位置につくことができるが、同一イニングでは投手として登板することはできない。ただし、新しいイニング入れば、再び投手として登板することができる。

14. 審判員の判定に対する抗議は認めない。ただし、ルールの適用についての確認は認める。
15. 監督またはコーチが投手に指示などをするとき、マウンドのところで行うこと。(ベンチからは駆け足で)
16. 2塁走者やベースコーチなどが捕手のサインを盗んで、打者にコースや球種を伝える行為を禁止する。
17. ボール回しをする時は一回りとし、最終野手は、その定位置から返球する。また、打者が打撃を継続中、塁上で走者がアウトになった場合のボール回しは禁止する。
18. 投手は走者をアウトにする意志がないのに、無用のけん制球を繰り返すとか、または送球するまねを何度も繰り返す行為は、試合のスピーディーな進行の妨げになるため禁止する。
19. 小学生の部は、攻撃側チームの監督、コーチに限りコーチスボックス内でベースコーチを務めてもよい。この場合、必ず両耳付ヘルメットを着用すること。
20. 各チームは同色のヘルメット7個以上、捕手の規定防具【マスク、捕手用ヘルメット、プロテクター、レガース、スロートガード、ファウルカップ（一体型捕手マスクの場合はヘルメット、スロートガードを除く）】2組を備えること。
21. ユニフォーム、バット、ボール、スパイク、グラブ等は連盟指定業者のものに限る。
22. 捕手は必ずヘルメットならびに規定防具を試合、練習を問わず着用すること。
23. グラウンドの都合で大会トーナメント規定が別に制定された場合は、それに従うこと。
24. ベンチ内での携帯電話の使用を禁止する。
25. 光化学スモッグ発生の場合、試合および選手に対する措置は別に定め、運営委員の指示に従う。
26. 試合前のシートノックは原則として5分間行うが、当該球場のグラウンド状況や試合終了時間を勘案して、シートノックを行うか否かは球場責任者が決定するものとする。

#### 参考

##### 野球規則 7.01 (4)

7.02 (a) によりサスペンデッドゲームにならない限り、コールドゲームは、球審が打ち切りを命じた時に終了し、その勝敗はその際の両チームの総得点により決する。

**【注】** 我が国では、正式試合となった後のある回の途中で球審がコールドゲームを宣したとき、次に該当する場合は、サスペンデッドゲームとしないで、両チームが完了した最終均等回の総得点でその試合の勝敗を決することとする。

- (1) ビジティングチームがその回の表で得点してホームチームの得点と等しくなったが、表の攻撃が終わらないうち、または裏の攻撃が始まらないうち、あるいは裏の攻撃が始まってもホームチームが得点しないうちにコールドゲームが宣せられた場合。
- (2) ビジティングチームがその回の表でリードを奪う得点を記録したが、表の攻撃が終わらないうち、または裏の攻撃が始まらないうち、あるいは裏の攻撃が始まってもホームチームが同点またはリードを奪い返す得点を記録しないうちにコールドゲームが宣せられた場合。

#### 《タイブレーク実施細則》

##### (1) 特別規則

- (イ) 中学生の部は延長8回あるいは試合開始から2時間を超えて(いずれか早い方)、決勝戦は10回あるいは2時間20分を超えて(いずれか早い方)、小学生の部は延長7回あるいは試合開始から1時間40分を超えて(いずれか早い方)、決勝戦は9回あるいは2時間を超えて(いずれか早い方)、両チームの得点が等しいとき、以降の回の攻撃は、

(ロ) 打者は、前回正規に打撃を完了した打者の次の打順の者とする。

(ハ) この場合の走者は、前項による打者の前の打順の者が一塁走者、一塁走者の前の打順の者が二塁走者、そして、二塁走者の前の打順の者が三塁走者となる

(ニ) この場合の代打および代走は認められる。

(2) チームおよび個人記録

チームおよび個人記録は公式記録とするが、以下に掲げる事項に留意すること。

(イ) 投手記録

- ・規定により出塁した3走者は、投手の自責点とはしない。
- ・完全試合は認めない。
- ・無安打、無得点試合は認める。

(ロ) 打撃成績

- ・規定により出塁した3走者の出塁の記録はないものとする。ただし、盗塁、盗塁刺、得点、残塁などは記録する。
- ・規定により出塁した3走者を絡めた打点、併殺打などは全て記録する。

大井川ボーイズ

駿東ボーイズ

浜松ボーイズ

浜松修学舎・静岡府中ボーイズ

代表 森重 明	代表 鈴木 貴司	代表 山本 浩士	代表 倉島 裕貴
監督 袴田 晋矢	監督 中川 清猛	監督 中村 永司	監督 宮澤 明聡
コーチ 太向 久	コーチ 鈴木 敏夫	コーチ 鈴木 広達	コーチ 望月 淳
マネージャー 伊藤 謙佑	マネージャー 大森 英里奈	マネージャー 北島 実	マネージャー 飯塚 智哉
0 主将 高田 颯 1年	6 主将 長澤 幸希 1年	9 主将 久米 煌河 1年	3 主将 松下 栄琉 1年
8 大井 聖奈 1年	12 鈴木 佑空 1年	1 横道 佑飛 1年	1 森下 寛大 1年
9 大井 健翔 1年	16 山下 実希 1年	4 堀内 凜 1年	2 田口 湊楽 1年
11 木村 滉亮 1年	17 原田 大雅 1年	5 森 幹太 1年	4 板倉 悠晟 1年
12 良知 優 1年	18 井上 結斗 1年	6 山下 律騎 1年	5 藤田 奏 1年
15 杉村 竜平 1年	28 市川 青鷹 1年	7 田中 愛唯 1年	6 渡辺 一伍 1年
18 石井 我空 1年	42 堀内 鉄匠 1年	11 太田 周平 1年	7 森 啓人 1年
20 梅原 祥 1年	44 前田 遼斗 1年	13 彦坂 琉羽 1年	8 金原 柚 1年
22 園田 彪馬 1年	45 岩崎 龍空 1年	16 鈴木 源 1年	9 飯塚 陽翔 1年
23 岡村 遥真 1年	47 繁松 由空 1年	18 百合山 隼翔 1年	10 手塚 勇虎 1年
25 片山 魁士 1年	48 大川 佑光 1年	23 藤井 優羽 1年	11 里見 颯祐 1年
31 関 吉隆 1年	56 渡邊 剛生 1年	24 竹下 瑛人 1年	12 白鷺 拓弥 1年
59 曾根 希海 1年	99 大森 朝陽 1年	27 笠原 聖維 1年	13 府川 真大 1年
97 鈴木 琉唯 1年		36 小林 大士 1年	
99 三浦 香穂 1年		39 比嘉 峻伍 1年	
		48 仲秋 蓮輝 1年	
		52 北澤 湊 1年	

富士御殿場ボーイズ

島田ボーイズ

下田・スルガボーイズ

静岡葵ボーイズ

代表 瀧澤 佳孝 監督 瀧澤 将美 コーチ 栗田 靖之 マネージャー 湖山 南基	代表 山田 登 監督 鈴木 亨 コーチ 飛弾野 清治 マネージャー 奥津 和長	代表 靱山 浩志 監督 鈴木 直也 コーチ 臼井 悠介 代表 宮本 浩和	代表 芦澤 厚史 監督 高柳 清彦 コーチ 池谷 謙太 マネージャー 佐野 文哉
2 主将 吉田 隼梧 1年 3 湖山 知承 1年 6 因石 隼士 1年 15 宮崎 遥也 1年 16 小野 賢人 1年 21 仁藤 理徠 1年 23 口藤 蒼良 1年 25 矢野 雄晴 1年 33 岩見 紘之進 1年 51 勝又 諒 1年	31 主将 海老名 亮 1年 2 大場 匠翔 1年 5 山内 仁 1年 6 大石 幹太 1年 7 望月 秀悟 1年 8 鈴木 一馬 1年 13 富永 陽仁 1年 14 山勢 創己 1年 15 塩原 慶音 1年 17 八木 一颯 1年 28 近藤 雄歩 1年 29 島津 海衣 1年 32 山下 友之介 1年 46 山中 遼大 1年 54 杉村 逞夢 1年 99 横山 充希 1年	12 主将 臼井 煌一郎 10 木村 八起 11 唐島田 泰 13 石坂 旭 14 千島 陽菜斗 15 内山 遥仁 16 太田 麦 17 矢野 道 20 松本 蒼大 25 房 睿 35 北原 建志郎 54 関 緑里	24 主将 長利 怜皇 1年 0 松江 大揮 1年 2 濱田 慈仁 1年 4 遠津 悠斗 1年 5 曲田 和樹 1年 11 神山 龍 1年 12 山下 開世 1年 14 佐野 愛太 1年 16 野口 慈央 1年 18 佐野 光星 1年 19 青木 善 1年 23 佐藤 大真 1年 25 倉持 涼太 1年 26 杉本 麗悟 1年 34 佐藤 陸人 1年 41 西ヶ谷 莉園 1年 47 宮部 明日斗 1年 51 川口結衣 1年

### 磐田ボーイズ

代表	中村 好寛
監督	吉村 正之
コーチ	齋藤 隆太
マネージャー	
52	主将 大原 侑馬 1年
6	澤野 煌太 1年
15	阿部 翔空 1年
16	山崎 隼誠 1年
19	高橋 祐翔 1年
22	永島 伴 1年
23	石神 秀真 1年
24	安間 蓮輔 1年
25	松下 嗣優 1年
30	杉本 優大 1年
31	村松 嵩斗 1年
33	松尾 碧羽 1年
39	大石 徠翔 1年
45	竹下 綾也 1年
55	西尾 颯馬 1年

### 浜松北ボーイズ

代表	富樫 憲之
監督	山道 伸之
コーチ	鈴木 理男
マネージャー	林 融
31	主将 藤原 波琉夢 1年
0	秋山 寛翔 1年
2	福井 瑛太 1年
5	高橋 奏人 1年
6	島村 琉聖 1年
8	小笠原 大和 1年
9	三井 悠雅 1年
11	杉本 悠斗 1年
16	鈴木 新汰 1年
18	菅川 優真 1年
23	伊藤 凌一 1年
25	和久田 悠仁 1年
29	林 直太郎 1年
44	大柳 翼 1年
47	由比藤 新 1年
49	齋藤 倅次郎 1年
80	乗松 聖羅 1年

### 菊川ボーイズ

代表	池田 竜司
監督	鈴木 修平
コーチ	後藤 英希
マネージャー	松本 充浩
58	主将 奈良間 蓮波 1年
0	榛葉 礼央 1年
11	加茂 琥太郎 1年
14	戸塚 龍聖 1年
15	村松 良亮 1年
18	岡本 睦祥 1年
19	小澤 啓希 1年
24	松本 惺捺 1年
35	紅林 來也 1年
40	松下 快聖 1年
48	柴田 優輝 1年
54	河合 瑛斗 1年
98	鈴木 峰和 1年

# 大会観戦時の注意事項

## 【撮影とSNS投稿に関して】

当連盟所属チームの選手・関係者を撮影されます際には、被写体となる方の肖像権にご配慮頂き、個人が特定されるような方法で撮影されないようにお願いします。また、撮影は手持ち撮影のみとし、**三脚の使用や球場設置物へのカメラの固定は禁止**いたします。

試合内容をSNSなどで公表される際には、選手・関係者の肖像権及びプライバシーにご配慮いただき、これらの**無断公表とらないよう**にお願いします。

## 【応援に関して】

球場利用上のルールにより、声、拍手以外の**鳴り物の使用は禁止**いたします。

以上